



【写真解説】①恋路出身の彫刻家・坂坦道氏の作品「恋路物語」の前でロウソクに火をつけるカップル ②恋の聖地らしく砂浜の数カ所、ハート型に並べられていた ③イベント終盤には水平線からもう一つの灯りが昇った ④⑤たくさんのボランティアによって点灯された ⑥数多くの作品から自分の作品を見つける ⑦砂浜は幽玄な灯りに包まれた



⑨前後に200個のちょうちんが飾られた「笹ギリコ」は、上町青壮年団とそのOBが制作した ⑩能登町最大の「野田大キリコ」も展示された。その全高は約14m ⑩イベントのスペシャルゲストは歌手の新沼謙治さん。代表曲「嫁に来ないか」など5曲を熱唱し会場を盛り上げた

**キ** リコと灯りをテーマに能登町5周年記念として実施された「キリコと灯りの祭典」は、8月22日に柳田植物公園で盛大に開催されました。

お祭り広場では町内各地区から持ち込まれた巨大なキリコ17本が、会場に訪れた約8500人を出迎え、ステージでは太鼓やよさこい、舞踊などのほか、新沼謙治さんのコンサートも行われました。

日が落ち、キリコの胴に灯りがともると、3本のキリコが担ぎ出され会場を練り歩きました。午後8時20分からは花火が打ち上げられ、観客はキリコの灯りと花火の競演に見入っていました。



灯りをテーマに能登半島を縦断するイベント「灯りでつなぐ能登半島」が今年も各地で開催されています。8月、能登町では恋路と柳田植物公園の2カ所で、キャンドルライトやランプシェード、キリコの灯りが夏の夜を彩りました。

# 夏の灯火

*Lamp light of summer*



**恋** 路浜に5000個の灯りがともる「夏の夜の恋路物語」は、8月8日に行われました。午後6時の点灯式では、山本一朗実行委員長が「恋路は700年にわたり恋の物語が語り継がれている恋の聖地です。幻想的な一夜を過ごしてください」とあいさつ。その後、たくさんのボランティアによって一斉に灯りがともされました。

このイベントでは、キャンドルライトのほかに、縄文工房のメンバーや町内小学校児童などが作った「縄文ランプシェード」も並べられました。

特設ステージでは、舞踊や太鼓、ミニコンサートなど多彩な催しも披露され、訪れた見物人を楽しませていました。